

令和3年度事業報告書

当センターは、平成7年4月に社団法人として運営を開始し、平成24年4月に宮城県知事の認可を受け、新たに公益社団法人七ヶ浜町シルバー人材センターとして現在に至っております。

1. 事業運営

事業運営については、令和3年度事業計画に基づいて、七ヶ浜町をはじめ関係機関のご支援ご指導のもと、過去の事業実績を分析しながら、会員と役職員が一丸となって事業拡大を図るべく諸施策を講じましたが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー人材センター事業においても会員数や契約額が減少するなど全国的に大きな影響が出た状況であります。幸い、当シルバーは公共・民間別事業構成比を見ても契約金額の五割以上が公共事業を占めており、大きな影響もなく就業が続けられ、円滑に事業運営を行うことができました。

2. 運営経費

運営経費については、国並びに七ヶ浜町の補助金を基盤として事業を展開していますが、国・地方の財政事情が厳しい現状から、補助事業の見直しや補助金の削減が進められている中であって、シルバー事業に対しまして、最大限のご理解をいただき、補助金の交付をいただきました。

3. 普及啓発

普及啓発については、会報シルバー七ヶ浜の発行及び会員募集用のぼり旗設置並びに町広報誌「広報しちがはま」の新年号と一緒に会報シルバー七ヶ浜を全戸配布で普及啓発活動を行いました。

4. 会員の確保・拡大及び講習会等の開催

会員の確保・拡大については、広報しちがはまや会報シルバーセーブルへ会員募集の掲載、会員の口コミによる会員勧誘を継続して行いました。さらに新聞折込みを利用した学校清掃等業務や保育所調理補助業務の特定就業地での会員募集を行ない、新年度からの不足就業先の確保を図ることができました。しかしながら65歳継続雇用制度の影響もあり顕著な実績を上げることはできませんでしたが、入会者29名に対し、退会者が25名でどちらも昨年よりやや増加する状況となりました。女性会員についても入会者10名に対し、退会者が8名とこちらも入会者の数が上回る状況となり微増ではありますが増加傾向となっています。

また、講習会等の開催については、就業機会の拡大や技能職種会員による後継者育成を図るための植木剪定、障子・襖張り並びに除草刈り払い機の技術講習会の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

5. 安全就業対策

安全就業対策については、会員が就業中の事故防止を図るため、就業現場の安全パトロールの実施、熱中症予防対策のためのポスター掲示及びチラシ配布を行いました。また、過去の事故発生件数を考慮して時期を早め5月に草刈機械講習会を開催しました。また、日頃からの体力づくりや健康増進を図るための健康運動教室及び安全就業推進研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

6. 地域貢献活動事業

地域社会の活性化に貢献する組織として広く地域住民の理解を深めるため、湊浜海浜公園駐車場の清掃活動を行ったところ、33名の会員に参加をいただきました。

7. 理事会

理事会では、センター事業の適正運営を図るため、入会会員の承認や事業実施状況等について議案審議及び意見交換を行いました。

8. 受注状況

令和3年度の受注件数は、請負・派遣事業等併せて425件、契約金額は70,834,183円となり、前年度と比べ25件増加し、金額では6,357,524円の増となりました。

契約金額の内訳は、公共事業が38,243,459円(54%)、一般企業が7,057,589円(9.9%)、家庭・個人が9,415,340円(13.3%)、派遣事業が16,105,295円(22.7%)となりました。

除草作業・剪定作業・清掃管理などの請負事業は前年度と比べ5,698,920円の増、派遣事業は前年度より658,604円の増となり、就業実人員も34人となりました。

この結果、就業実人員の総数は前年より5人増の130人となり、就業率は83.3%となりました。